

繊維リサイクル技術研究会 『第127回情報交換会』

紙はこうして作られる！～板紙のいろは～

繊維廃材をシート化することによって様々な活用方法の可能性が出てきます。シート化の有効な方法として製紙技術の応用が考えられます。今回は長年、再生紙メーカーとして紙の再生に取り組んでおられる大和板紙(株)様を訪問し、紙(板紙)の作り方、物性、応用などについて解説をしていただくとともに、実際に製紙工場を見学させて頂き、紙のいろはを学びたいと思います。製紙の現場を見学することによって繊維廃材の有効活用について様々なアイデアが生まれることが期待されます。

本研究会の会員／非会員に関わらず興味のある方は奮って参加していただけると幸いです。

【期日】平成30年2月21日(水) 14.00～17.00

【会場】大和板紙株式会社(大阪府柏原市河原町5-32)

<http://www.ecopaper.gr.jp/daiwa/>

【内容】予定

14:00～15:00	事前説明(紙／板紙とは、紙/板紙の作り方、紙／板紙の応用 など)
15:00～16:00	板紙製紙工場見学
16:00～17:00	質疑応答等

移動

17:30～ 志紀駅前にて懇親会(大和板紙スタッフも参加予定)

【共催】NPO 未利用資源事業化研究会

【定員】20名(先着順)

【参加費】研究会メンバー無料、一般10,000円

【注意事項】

- ・駐車場はございませんので車での参加はお控えください。
- ・ヒール等ですと危険ですので、できるだけ動きやすい服装・お足もとでお越しくください。

【問い合わせ先】繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫
tkimura426@gmail.com